

「磁束密度波形制御装置」を導入しました

電磁力担当 研究員 後藤 慎 shin-goto【@】oita-ri.jp

磁束密度波形制御装置は、電気自動車や産業機器に使用されるモータやトランスに用いられる電磁鋼板、パーマロイなど、高い飽和磁束密度を有する軟磁性材料の磁気特性を正確に測定するための装置です。当センターでは、令和 7 年度にブライテック製の磁束密度波形制御装置 Bcon-01 を導入しました。従来の測定装置では、磁束密度波形の正弦波制御をソフトウェア処理により行っていたため、1.5T 以上の高磁束密度領域においては測定に長時間を要するという課題がありました。本装置はハードウェアによる正弦波制御方式を採用しており、磁気特性測定システムに組み込むことで、高磁束密度領域でも短時間で測定が可能です。これにより、磁性材料の磁気特性測定を、より正確かつ効率的に実施することができます。



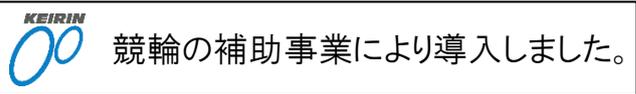
磁束密度波形制御装置の外観

活用事例としては、主に電磁鋼板、アモルファス、パーマロイやパーメンジュールなどの磁性材料の磁気特性評価やモータや変圧器などの電気機器の設計開発用磁気特性データベースの構築となります。

上記の材料以外の評価にも利用可能であり、試料形状については利用前にご相談ください。

【磁束密度波形制御装置 Bcon-01の主な仕様】

- ・測定周波数：50Hz～400Hz
- ・サンプリング点：2000 点以上(50Hz)
- ・測定法：励磁電流法、H コイル法
- ・試料形状：リング試料、短冊試料(エプスタイン試験、小型単板磁気試験器)
- ・磁束密度正弦波制御



「B-スクエア竹籠展 凹と凸 ○と□」開催

機械・デザイン担当 研究員 疋田 武士 t-hikida【@】oita-ri.jp

当センターが支援する未来竹房 B-スクエア入居者 3 名による「B-スクエア竹籠展 凹と凸 ○と□」を東京都千代田区有楽町の坐来大分にて開催し、引き続き大分県大分市高砂町の iichiko 総合文化センターにて開催いたします。

B-スクエアは大分県が運営する竹製品製造者専用のインキュベーション型貸工房です。県内において竹工芸や竹材を利用したものづくりで、創業・自立しようとする竹工芸家の方が作業場や研究室として利用するために設置されています。

当センターでは竹工芸産業振興のため B-スクエア入居者を対象に、制作活動で必要となる商品開発・販路開拓等に関わる支援を行っており、本展示会もその一環として毎年度開催しております。

本年度は、展示会を東京・大分にて開催いたしますので、是非ご観覧ください。

＜開催場所・日時＞

- ・坐来大分
令和 8 年 2 月 16 日(月)～3 月 13 日(金) 11:30-22:00
- ・iichiko 総合文化センター1F
令和 8 年 3 月 20 日(金)～3 月 22 日(日) 10:00-18:00

令和 7 年度
入居者
持木 百合香
宇野 冴月
井上 朝太郎
(敬称略)

